

人文学の挑戦

北海学園大学人文学部は、【人文学の挑戦】と題し、本学部教員の研究成果を広く社会に還元するイベントを開催して参ります。第一回目の今回は、今年3月に『アフリカ系アメリカ人という困難—奴隸解放後の黒人知識人と「人種」』（彩流社）を上梓した大森一輝教授が、誰も「人種を意識しない」世界を目指した人々の奮闘・迷走・挫折そして希望について語ります。参加無料、予約不要。お気軽にお越しください。

第1回



『アフリカ系アメリカ人 という困難』をめぐって ——人種は無視すべきなのか？

概要

人種差別はもはや過去のことなのでしょうか？　すべての人を、「～人」ではなく、「個人」として遇すれば問題は解決するのでしょうか？　黒人差別をなくすには、我々も日本人であることをやめなければならないのでしょうか？　排外的なナショナリズムが日本やヨーロッパで高まっている今こそ、「人種」とは、「民族」とは、「国民」とは何なのかを、アメリカの経験から問い合わせ直します。

講師

大森 一輝 (おおもり・かずてる) 北海学園大学教授

1963年北海道生まれ。一橋大学大学院社会学研究科博士課程単位取得、マサチューセッツ大学アマースト校大学院歴史研究科博士課程修了(Ph.D.)。

ハーバード大学歴史学部客員研究員、都留文科大学文学部比較文化学科教授を経て、2014年4月より現職。著書・訳書：『個人と国家の間 〈家族・団体・運動〉』(共著、ミネルヴァ書房、2007年)、『ダドリー通り—破壊された街の再生の物語』(共訳、東洋書店、2011年)、『アフリカ系アメリカ人という困難—奴隸解放後の黒人知識人と「人種」』(彩流社、2014年)など。



聞き手／コメントーター 北海道武蔵女子短期大学 木下なつき 講師

日時

2014年7月27日(日) 15:00~16:30

会場

紀伊國屋書店札幌本店 sapporo55ビル 1F インナーガーデン

札幌市中央区北5条西5丁目7番地 お問合せ先 011-231-2131

北海学園大学人文学部／彩流社